

●主な活動の記録 (4月～9月)

4月14日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

矢田山にも春が来た!

ソメイヨシノは散ってしまったが、矢田山遊びの森では、山桜やツツジが今を盛りと咲き競い、春を謳歌している。花の便りは楽しいが、もっと嬉しいのは、しばらく体調不良で活動を休んでいた弘田会員が復帰。久々のチェンソーの手触りやエンジンの震えに心を躍らせていた。今日の参加者 16 名。別動隊として県緑化委推進協会による、近鉄奈良駅前での”緑の羽根”街頭募金活動に 6 名。

午前中、「緑の募金」助成事業として、モミジ谷の間伐、林内整備に入る、ハイキング道脇の枯損木の整理、次回予定の一般参加者を迎えての”森林作業体験会”のための選木作業を行った。

昼食時、県景観・自然環境課の HP で当クラブの活動が紹介されているのをダウンロードした記事を情報館で鑑賞。午後、シイタケ銀行の柵補修の為、間伐材を皮むき、杭づくり。同時に出来た杭に防腐剤を塗布した。今日も元気で楽しい汗をかいて、無事作業を終え、定刻に解散。

休憩時、「探検隊」が竹林の状況調査に行き、イノシシに荒されていないタケノコを発見、収穫あり!



参加者一同



枯損木の伐倒



皮むき



杭づくり

4月14日(土) 「緑の募金」街頭募金 近鉄奈良駅前

県緑化委推進協会による”緑の月間”恒例の活動に、いこま里山クラブと共に、当クラブよりは 6 名が参加。募金協力の呼び掛けを開始する 10 時までに、子供に配る風船や花の種、幟の取付けの手配完了。助っ人として、ミス奈良 3 名他、幼稚園児、ガールスカウトが順次到着。道行く人々に大きな声を出し、協力と呼び掛けた。外国人の聞きしに勝る多さ、特に電車から降りてくるのは、8 割を超えていた。逆に絶好の行楽日和ながら、例年に比し日本人がかなり少なく、成果は今一。昼過ぎに片付けを終えて解散。



==緑の羽根街頭募金活動風景==

4月28日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

参加者 26 名に加え、景観ボランティア明日香からの 3 名の参加があり。久しぶりに大人数。昼食の賄い班 6 名を料理体験館に残し、後は全員頂上展望台へ。午前中は展望台脇で、寝返りをした大きなサクラをチルホールを使って引き起こし、予め間伐材を利用して作ったおいた立派な支柱をかませた。同時に「永遠の森」植栽地での下草刈りを午前中実施。

この日は「はなみの会」を兼て行われた。例年第 2 土曜日にさくらの花見会をしていたが本年は緑推の「緑の羽根」街頭募金活動と重なった為変更。サクラは既に終わっているので変わって 20 周年記念植樹「永遠の森」での、ツツジを愛でる会となった。お昼に出来たばかりのたっぷりの焼きそばを味わい、花を見ながら歓談。

午後、除伐した大きな楠を利用して作ったベンチ2台を移動し、展望台傍に設置し直し作業。コロをかませ、ロープを付け大勢で引っ張り上げ、台木のうえに安定させた。これで大人数の団体が訪れても、皆がゆっくり腰を据えて休憩してもらえるようになった。解散後の定例理事会では、

- ・本年度の助成事業申請、「緑の募金」モミジ谷の林内整理、FV 連緑と水のファウンドリーダー研修—曾爾村を提出
- ・モミジ谷森林作業公募—チラシを新聞・放送各社へ発送
- ・外部各種会議・活動への対応出席
- ・6月10日 Green Gift 地球元気プロジェクト共催イベントの内容等の報告・検討を行った。



倒れたサクラの修復作業



下草刈り整備作業



昼休みの歓談



ベンチの移動

4月29日(日) 緑化作品コンクール表彰式と花苗の配布 馬見丘陵公園

昨年度、県緑化委推進協会と県教育委員会の共催で実施されたポスターと標語の緑化作品コンクール入賞者表彰に対する表彰式が、馬見丘陵公園大テントしたで行われるにあわせての、花苗の無料配布のためクラブ員6名が参加し、準備と配布の手伝いを行った。式の最後にせんとくんも加わっての記念撮影を待って、既に行列を作って待っていた人々に、花苗入りポットと花の種を手渡していった。列は昼過ぎまで続いた。



準備作業



表彰式



受賞者と



苗配布の列

5月12日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

午前中、参加者14名全員「緑の募金」公募事業”モミジ谷の森林整備作業。人工林の間伐は前回までで、ほぼ目途がついたので、この日は遊歩道と人工林との間を流れる沢沿いを中心に、雑木の除伐・枯損木の処理・草刈りを実施。昼過ぎまで汗を流した結果、かなり見通しがきくと共に、陽も差し込み明るくなった。これでハイカーも気持ちよく歩を進めてもらえることでしょう。

午後、間伐材を使って予め準備しておいた杭を使ってのシイタケ銀行の柵の補修。結構立派な杭で、カケヤで打ち込みに足場の悪さもあってチョット難儀しながら、5本を打ち込んだ後、古い柵と番線で結わえ補強した。



==作業風景==



杭打ち

5月26日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

参加者15名。午前中、「野鳥の森」植栽地とその沿道の草刈り。この日緑推から提供のあったリヤカーを、作業地まで道具を運搬するため始めて使う。ただ上り坂ではかなりの人力が必要にて、中程で一部を

下ろし、いつものように肩で担いで上がる。草刈りは結構傾斜のきつい所が多く、しっかり足を踏ん張って注意しながら刈り進んだ。この間、傷の入ったサクラやモミジの枯れ枝の切り取りも行った。グミが色づいていたので、鳥にやられる前に賞味させてもらった。よくうれたものは甘さもそこそこ。

午後、シイタケ銀行の柵付替えの為の間伐材を利用した杭を打ち込んだ。女性達は間伐材の皮むきを実施。ただ伐倒してから時間が経って乾燥しているため中々むきずらかったよう。終了後の定例理事会で、

- ・奈良テレビ放送 6月22日の「フライデー9」で四季彩の庭特集のための矢田山取材 が入る予定だが、日程未定
- ・6月10日共催イベント「菜の花と橘で結ぶ記紀万葉の道巡り」で矢田山での対応に ついて検討。準備したppを使って矢田山の紹介、クラブの活動紹介、森の役割等 について話すこととした
- ・6月23日実施の草木染打合せ、一般募集のチラシ作成内容の検討
- ・奈良市地球温暖化対策協議会総会の対応一辰巳理事代理出席
- ・環境出前講座、山もりてんこ森等でのクラフト指導の予定と参加者
- ・今年度実施予定の事業のための行政財産使用願い提出の件



リヤカーを引いて



草刈り



枝の処理



皮むき

6月9日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

参加者22名(内中高生2名)。この日、奈良テレビのクルー3名が活動状況の取材に訪れた。作業は「緑の募金」助成事業、モミジ谷での「憩いの場としての健全な森林づくり」の最終仕上げとして、ヒノキ人工林の間伐、雑木の除伐、沿道草刈りを手分けして実施。この間、カメラを回し、インタビューを受けた。更に、最近活動に参加してくれているマウンテンバイククラブのメンバー数名が、整備の終わった管理道を颯爽とバイクを走らす姿、加えて頂上展望台のなら彩の庭づくりの一環でもある、「永遠の森」の現状も合わせ収録された。

午後は、シイタケ銀行(ホダ木置き場)でモミジ谷での間伐材を使って柵の作り替えと、クラフト材料づくりと、女性達は次回定例で実施する草木染めの準備に分かれての作業を定刻に終了。尚、収録されたものは、6月22日(金)フライデーナイン、夜9時より放映の予定。



インタビュー



収録風景



杭づくり



6月10日(日) イベント「菜の花と橘で結ぶ記紀万葉の道巡り」

Green Gift 地球元気プログラムとして、NPO法人宙塾が主催され、他の団体と共に当クラブが共催。天気予報は雨ながら決行。一般参加者と事務局スタッフも含め50数名が霊山寺駐車場参集。まず、菜の花プロジェクトに参加した富雄北小で絞った菜種油を同寺に奉納、管主よりお礼と法話を頂いた後、追分梅園へハイキング組と車分乗組に分かれて行き、小一時間梅狩り。各自1kgほどを貰い、矢田山遊びの森へ。情報館で、当クラブによりパワーポイントを使って矢田山とクラブの子供を中心とした活動紹介後、森の役割を考えるクイズ。ついで他団体の富雄の歴史紙芝居風解説。

昼食後、菜種の種取りから菜種油絞りまでの作業体験。最後にクラフト”ジージーゼミづくり”を指導。

この間記紀・万葉めぐりとして参加の大人達は、情報館でさらに詳しい富雄歴史講話。

予報に反し、雨に見舞われる事無く、盛り沢山のプログラム無事にこなし解散。



菜種油の奉納



参加者全員で



矢田山紹介



種落とし作業



油絞り中



クラフト



梅狩り



歴史説明

6月17日(日) むし祭り 2018 榎原市昆虫館

本年度第一回「森の学校」として、出展された県中部農林振興事務所より講師等の派遣依頼を受け、クラブ員4名が参加。今年は、一般市民の参加者は、受付で「森林クイズ」のシートを貰い、展示しているパネルを見てクイズの回答を記入、受付で○を付けをしてもらったシートをクラフトテーブルで提示する手順をとった。

クラフトは、むし祭りに合わせ「ジージーゼミ、ガリガリ・トンボ、サクラの小枝をつかったカブトムシ、クワガタムシ」づくりとし、一部リョウブの輪切りでモクマルくんづくりもした。10時開始直後からテーブルは参加者で一杯となり、少なくなる時間帯はあったが、子供129名、大人93名、計222名の来訪があった。ジージーゼミ、ガリガリ・トンボは相変わらず人気の他、今回はサクラの小枝の「クワガタムシ」づくりも男の子の興味を引き、50個近くの作品となった。



製作風景



出来上がり



森林クイズ

6月23日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

本日は一日中雨の予報に関わらず、16名が参集。午前、「永遠の森」での傾いたサクラの木起こしと草刈り、シイタケ銀行・炭窯周辺の草刈りと女性を中心に草木染め体験にと三手に分かれての活動。予定をほぼこなす昼前に本降りとなったので午後は活動を取止め、情報館で今後のクラフト指導のスケジュールの説明・参加者を募る。この後、ほぼ一年振りとなる草木染め体験の作品紹介。この日は、染料はスギ・アカネ(山野に自生する多年生のつる草の根を粉末にしたもの)・玉ねぎの皮を使って綿のハンカチ・ペットボトル入れを染め上げた。アカネ(茜色)、玉ねぎの皮(金茶色)良く仕上がったが、スギの生葉(黄色)の発色は弱く今一だった。解散後の定例理事会は、ボランティア保険付保他の報告事項のみ。



サクラ起こし



草木染め：乾燥



アイロン乾燥



仕上り—ペットボトル入れ

7月4日（水） 環境出前講座 佐保川放課後子ども教室

クラフト体験の実施場所は教室だったが、講座の冒頭行う「当クラブの活動紹介」等は、最初に全員が参集する多目的ホールで行った。先般「奈良テレビ」が放映した当クラブの活動状況（プリントしたもの）を示して説明した。その後、受講者60人（3年生28人、4年24人、5年4人、6年4人）は、2階の4つの教室に分かれ、各机の上でジージーゼミづくりに挑戦した。教室で実施する場合、材料を4つに分ける必要がある事、材料揃えに時間がかかることから、材料を前日持ち込み、それを先生方が夫々の材料を取り揃え、各人毎の袋に入れ準備するという協力も得られ、クラフト作業は順調に進んだ。今回は、ジージーゼミづくりをテーマとしたが、4人のスタッフ講師が作り方の手順を説明し、みんなの進捗状況を確認しながら、次の手順へと進み、先生方や保護者・ボランティアには子ども達の手助けをしていただいた。完成した子は、あちこちでゼミの声を鳴らして、歓声をあげていた。この日当クラブからは7人、先生10人、保護者・ボランティアは20人であった。



クラブ紹介



==各教室での製作風景==

7月12日（木） 環境出前講座 二名バンビーホーム

参加児童107名と大所帯。低学年と高学年二箇所に分かれ、森林環境教育とクラフト指導を当クラブ員11名で実施。開始前に高学年により、新しく作られたホーム歌「こわいものなんてない、ぼくらはもう一人ではない・・・」と元気な大きな声で歌って聞かせてくれた。その後部屋別に学年に応じた森とはの話を10分ほどして、クラフトづくり。低学年生は竹節の輪切りを使ってカエルの顔や、竹の輪切りとドングリ等を組合せ置き物をつくり、多くはサインペンで色付けをした。高学年生は人数の関係から3年生だけは竹の輪切りを組合せてのカタツムリや小鳥の巣作りの置き物を、4～6年生はガリガリトンボづくり。細かい作業であったり、ガリガリ棒に丸ピンを打ち込む際割ってしまったり、と苦労があったようだが、出来上がった作品を大いに楽しんだ。



歌の披露



製作中



出来上がり

7月14日（土） 定例活動 矢田山遊びの森

参加者、新入会の女性一名を含め17名。午前中、今年度新規「緑の募金」助成事業”憩いの場として健全な景観の良い森林づくり”をモミジ谷で最初の作業。実施場所の確認、沢に新しい木橋を架けたり、選木・草刈り等を実施。

午後一番、奈良テレビが、6月22日フライデーナインの番組内で、当クラブの活動状況が紹介された録画

を情報館で鑑賞。合わせて県自然環境課作成のHP、なら四季彩の庭づくりにアップされている当クラブの様子を見た。この後、県”山と川の月間”協賛イベント等でのクラフトづくりのための材料準備を行い定刻に解散。



新人紹介



除 伐



新しい橋の渡り初め

7月16日(月) 山もり・てんこ森 ～山・川・海の恵みを未来へ～

吐山の県野外活動センターで開催。出展参加20数団体にまじり、当クラブも例年通りクラフト指導に9人が参加。

開始の10時には、来場者が少しづつ訪れ始めた。ジージーゼミは当初から人気があった。ガリガリトンボも当クラブサイト入口の最初のクラフトであり、弘田会員のユニークな指導もあり、親子連れで賑わった。今回のテーマは、ジージーゼミ、ガリガリトンボ、竹笛、竹と木の実の置き物づくり、竹のけん玉づくりと5種類あり、一応担当を決めながら、来場者に合わせてカバーする体制を取った。昼食時やその後は来場者は少なくなったが、持ち込み材料から計算するとジージーゼミ 50個、ガリガリトンボ 70、置き物 40、の材料が使われたことになっていることから(一人で数種類もつくる子もあるが)来場者は160人程と推定される。全体の参加者は、高温注意報が出ていることもあり、例年に比べ少なく、400人弱。



= 製作風景 =

ジージーゼミで遊ぶ

7月28日(土) イベント 矢田山遊びの森

県「山と川の月間」協賛イベントとして、一般参加者を募っての竹伐り作業体験と竹を使ったクラフトを予定していたが、生憎台風接近にともなう雨の予報があり、内容を変更、作業体験を中止し実施。この日参加してくれた5組15名の家族づれに対し、午前中は予め切っておいた竹を使ってのけん玉づくり。長い竹をクラブ員の助けをかりながら、作業台の上で、見本を参考にしながら、切り分け、ナイフで削り形を整え、本体部分と玉の部分に穴をあけ、紐でつないで出来上がり。早速トライしてみたが、中々上手くいかず苦労していた。

午後は竹のサイズの異なる輪切りを組合せて、カタツムリや小鳥を、木の実を組合せて竹の台の上にバンドで止めての置き物を思い思いに作った。

多少、予定より早く出来たので、情報館で、PPを使って作っておいた矢田山遊びの森やクラブの子供を中心とした活動の抜粋を紹介。安全で楽しい場所故、又遊びに来るようにと結んだ。クラブ員の参加者は16名。子供のクラフト指導したり、一部は次回のためのクラフト材料づくりを行った。



竹を切る



形を整える



次、何に作る



7月31日(火) 環境出前講座 富雄南バンビーホーム

参加児童1~6年生74名と多く、高学年と低学年の二つに部屋も分かれ、クラフトの内容も変えて実施。クラブ員8名、職員6名で指導。先ずは、「森の話」から始める。同校は、クラブの活動拠点である矢田山遊びの森に近く矢田山を知っている子供が多くいた。

森の役割について説明しながら、子供達からも知っている事を発表させ話を進めた。クラフトは小4~6までは、ジージーゼミづくり。作業の進捗が速く、和紙のボンドが乾く頃には、あちこちでセミの鳴き声でした。小1~2は、竹の輪切りと木の実を使った置物づくり、小3は竹のサイズの異なる輪切りを組合せたカタツムリや、小鳥の巣作り、クマさんの置き物づくりを見本を参考にしながらつくりあげた。順調に作成が進んだので、残った材料を貼り付けたり、マーカーで色付けして独自色をだしている子供もいた。



森の話を聞く



==作成風景==



セミを鳴かす

8月3日(金) 環境出前講座 富雄第三バンビーホーム

児童59名、スタッフ8名を対象に、クラブ員5名で指導。恒例通り「森のはなし」からスタート。まず、森に行くときどんな気分になりますかと問いかけ、挙手で答えを引き出す方法を取り、数人から回答があった。森林では、樹木が二酸化炭素を取り込み、我々が必要な酸素を出して、空気を綺麗にしてくれる。小鳥など動物の棲家であり、雨水を溜めて「緑のダム」と言われる役目をしてくれるという話には、真剣に聞き入っていた。

クラフトは、小3~6はジージーゼミづくり、小1~2はモックンづくりを行った。小3の中には作業が遅れる子もいたが、昼食に間に合う時間までには完成。小1~2の子には、サクラの小枝を手動の鉛筆削りで先を尖らせ、マーカーで色を付け、反対側につけたヒートンにリリアン糸で結び、「えんぴつ」をペンダント風に仕上げるもの。「えんぴつ」以外にもう一個(「人の顔」もしくは、「おさるさんの顔」)を作ってもよいと言うと歓声をあげ、作り上げて行った。



=製作中=



8月10日（金） 三宅町生涯学習推進講座 クラフト指導

奈良市環境政策課からの紹介で、同街の子供達の夏休みのイベントとして、クラフト指導の要請あり。当クラブの自然環境事業として、スタッフ3名で実施。公民館に集まった小学生20人（一部は親同伴）が学年別に3グループに分かれ、テーブルについた。最初の「森のはなし」では、子供達に「森に入るとなにか聞こえますか」との問いかけに答えがなかった時、講師の背中の方で”小鳥の擬音がしたが全員ポカン。これは桜の木で作ったバードコールによる擬音と分かることとあつけにとられていた。クラフトは、低学年も高学年と同じものをしたがるということで、全員ジージーゼミづくりとした。ただ低学年のグループには、保護者2名、事務局、並びに当クラブのスタッフがついて対応した。一部に手が進まない子どももいたが、全員予定時間をあまして終了した。そのため、残り時間を全員”竹笛づくり”を行った。一部屋の中で、竹笛を吹かれると誰の笛になっているのか分からない。でもみんな大いに楽しみ、依頼者からの感謝の声が聞かれた。



説明を聞く



製作風景



ジージーゼミで遊ぶ

8月11日（土） 定例活動 矢田山遊びの森

この日は、県「山と川の月間」協賛の2回目となるイベントを兼ねており、一般1家族3名の参加とクラブ員22名で、森林作業体験と木工クラフトを実施。午前中は、クラフト、情報館周辺の剪定等の整備、追分から矢田山へのモミジ谷ハイキング道の夏草刈の3班に分かれて作業した。クラフト班は、酷暑とお盆休みが重なったためか参加者は母親とこども2人と少なかったが、その分サポートした会員ともども、中身の濃い作業が楽しめた。兄妹が作った”ガリガリトンボ”が良く回りご満悦の様だった。情報館周りの環境整備では、山本ジュニアの伐木初体験もあって、見違えるように周囲が明るくなった。

午後には、炭窯の前の傾いた小屋をチルホールで引き起こし、モミジ谷から運んできていた材で補強。”作業に熱中”したためか、暑いにかかわらず熱中症にもならず、さわやかな顔で終わりの会。



丸太切り体験



剪定作業



ジュニア初体験



小屋起こし

8月12日（日） 第二回森の学校 クラフト

県中部農林振興事務所がふたかみパークで開校。いつもの通り当クラブにクラフト指導の要請があり、クラブ員5名で対応。今回は、①ジージーゼミ、②竹笛、③サクラの小枝でカブト・クワガタづくり。①②は鈴木・奥が、③は山本・八木・辰巳が担当し、10時にスタート。

参加者は、受付で森林クイズ用紙をもらい、展示のパネルを見て回答を記入、受付でチェック後、クラフトのコーナーで希望の作品づくりに挑戦した。どれを作っても良いということで、全てを作る子もいた。午前中かなりの親子連れが来場（保護者 32 名、子供 39 名 計 71 名）との盛況だった。

昼食時と午後の始めは、来場者が少なく 3 組の親子の来場があったが、突然空が暗くなり、雷雨が急襲、身動きが取れず、待機後近くの小屋に避難。クラフトコーナーも風雨の吹込みがあり、続行不能となり、材料等の撤収にはいり、片付けの作業に入った。今回は、予定していた自然観察は中止し、イベントを終了。



製作風景

8月25日（土） 定例活動 矢田山遊びの森

午前中参加者 17 名は、頂上展望台周辺並びに、”永遠の森”植栽地の草刈りと、公園入口のモニュメント付近の生垣剪定と整備に分かれての作業。

展望台では、一度引き起こしたサクラが、先の台風 20 号の強風に煽られて、再度傾いたので修復方法の検討をし、次回に行うこととした。

午後は、子ども交流館前のベンチの痛みが目立ってきたので、防腐剤塗りをし、乾くまで誤って座らないようにテープを架けて置いた。この日も、引き続き酷暑日のため、安全の為作業を早めに切り上げ解散。



草刈り作業



剪定



ベンチの手入れ

9月8日（土） 定例活動 矢田山遊びの森

朝からの雨で、参加者は少なく 11 名。この日は予定していた作業をすべて中止し、管理員からの要請を受け、先の台風 21 号で倒された大小様々な木々が、管理道・ハイキング道のいたるところに横たわって、次の週に予定されている管理道草刈り作業に差し障る事もあり、これらの処理を優先することとした。南は僧坊池から、北は緑ヶ丘休憩所の先まで、広範囲にわたるゆえ、2 班に分かれての作業を昼過ぎまで実施。最後に一班は、過去幾度か倒れかき、修復した展望台のサクラ一本、流石今回の強風には耐えられず、根こそぎ倒れていたため、残念ながら今回除伐することにし処理を行った。切ったサクラはクラフトの格好の材料となる故、後日運び出し小口切りすることとした。最後に全員でチェーンソーの手入れをし解散。

この朝、門真市教職員組合退職者会（普段、同市内の小学生を対象に、毎週土曜日に学習指導をされている NPO 法人）の代表者の訪問が有り、11 月初めに当地で同会メンバー 20 名前後でのハイキングを予定されており、この機会に矢田山の概要や当クラブの成り立ち・活動状況・課題等の紹介要請を受けての打合せを行った。



=風倒木の処理作業=

サクラの除伐

9月22日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

参加者15名は午前中、みんなの森植栽地での草刈りを予定していたが、明け方降った雨のため、足元が悪く急遽予定を変更し、シイタケ銀行の柵の補修・風倒木の処理・イベント用道具の準備の三手に分かれて作業。風倒木は、道路際で大きな木の枝が途中で折れているものあり、梯子を架けて結構高所での切断作業。チェーンソーをロープで引っ張り上げ上げて、枝の吊るし切り。シイタケ銀行は、周りの柵の作り替えの為、杭の打ち込み、古いホダ木の処分、櫓の作り替えを行った。午後は、作業の終わった倒木処理班も加わり、引続いで作業。終了後の定例理事会では、

- ・10月から始まる新年度の活動内容の検討一取りあえず、年内の定例の第二土曜日は、「緑の募金」助成事業、モミジ谷の森林整備、第四は野鳥の森の整備、自主 は林野庁助成事業
- ・総会の開催、12月第二土曜
- ・年末は、一般参加者を交えての恒例の餅つき
- ・エコフェスタ2018inまほろば、10月27日県中部農林振興事務所の「森の学校」でのクラフト指導での講師派遣
- ・門真市教職員退職者組合より、当クラブの成立ち・現状・課題等につき教示の依頼、11月7日子ども交流館で



風倒木の処理作業

シイタケ銀行柵の補修

<<71号発行遅れにより、今回は71(4~6月)・72(7~9月)号の合併号となりました。>>